

哲 學 研 究

第 三 十 三 卷 第 四 冊

第 三 百 七 十 三 號

昭 和 二 十 三 年 七 月 十 三 日 發 行

文藝特に小説の根源的構造……文學博士 植田壽藏

カント「判断力批判」成立に……文學士 西田秀穂
關する一考察

聖アウグスチヌスに於ける……文學士 山田晶
回心問題(承前)

京 都 大 學 文 學 部 內
京 都 哲 學 會

京都哲學會規則

- 第一條 本會ヲ京都哲學會ト稱ス
- 第二條 本會ハ廣義ニ於ケル哲學ノ研究及其ノ普及ヲ以テ目的トス
- 第三條 本會ハ前條ノ目的ヲ達センガ爲メ左ノ事業ヲ行フ
- 一 毎月一回研究會ヲ開ク
 - 一 毎年公開講演會ヲ開ク
 - 一 毎月一回哲學研究ヲ發行ス
- 第四條 本會ノ事務所ヲ京都大學文學部内ニ置ク
- 第五條 本會ノ事業ヲ經營スル爲メ左ノ役員ヲ置ク
- 一 委員(若干名)京都大學文學部哲學科教官及委員會ニ於テ推薦シタル者ヲ以テ之ニ充ツ
 - 一 書記(一名)委員會ニ於テ囑託ス
- 第六條 本會ノ趣旨ニ賛同スル者ハ何人ニテモ會員タルコトヲ得、學校、圖書館、教育會、其ノ他團體ハ其團體ノ名ヲ以テ入會スルコトヲ得
- 第七條 會員ハ會費トシテ年三百六十圓、前後二期ニ分チテ前納スルコトヲ得
- 第八條 會員ハ本會ノ諸種ノ會合ニ出席スルコトヲ得、且ツ雜誌『哲學研究』ノ配布ヲ受ク
- 第九條 本會規則ノ改正變更ハ委員會ノ決議ニ依ル

京都哲學會役員

委員

文學博士	白井二尙
文學士	上野照夫
文學士	小田武
文學士	重澤俊郎
文學博士	下程勇吉
文學博士	島芳夫
文學士	國原太郎
文學士	高田三郎
文學士	田中美知太郎
文學士	野田又夫
文學博士	久松眞一
文學博士	本田義英
文學士	松尾義海
文學博士	矢田部達郎
文學博士	山内得立
文學博士	井島勉

寄贈圖書

植田清次著 經驗論の哲學 (平凡社全書) 東京 平凡社
定價 百圓

寄贈・交換雜誌

山口商學雜誌 (十八ノ一) 國語・國文 (十七ノ一、二、三)
立命館文學 (六十二、六十三) 經濟論叢 (六十一ノ一)
經濟學雜誌 (十七ノ三・四、五・六、十八ノ一、二、三)
哲學季刊 (七) 一橋論叢 (十九ノ一・二、三・四)

前	號	目	次
文學士 齋 昭	大學の原型……………	「大學の理念」の史的展開	
文學士 張 源 祥	音樂に於ける意匠と表現(兼前)		
文學士 山 田 品	聖アウグスチヌスに於ける同心の問題(兼前)		

會 告

- 一 本會へ入會希望者ハ京都市左京區田中西浦町弘文堂書房内京都哲學會係宛ニ規定ノ會費(前表紙裏ニアリ)ニ送料ヲ加算シ御納付ノ上御申込被下度候
- 一 會員ノ轉居入退會等(編輯事務以外ノ一切)ノ事務ハ弘文堂書房内京都哲學會係へ御通知被下度候
- 一 會費ハ「振替口座京都一九五五六番 京都哲學會」宛ニ御拂込被下度候
- 一 前金切レノ場合ハ帶封ニ「前金切」ノ印章捺捺致スベキニ付直ニ御拂込下サレ度候
- 一 本誌ノ編輯ニ關スル通信及紹介・新刊書・寄贈雜誌等ハ凡テ本會宛ニ御發送被下度候

京都大學
文學部内 京都哲學會

註 文 規 定

- 一 會員にあらざる購讀者の御注文及び廣告に關する件は「弘文堂書房」へ御申込下され度候
- 一 本誌の御注文はすべて代金郵税共前金にて御送り下され度候
- 一 特に請求書及び領收書等を要する場合は郵券四圓御送付下され度候

昭和二十三年七月二十日印刷納本
昭和二十三年七月三十日發 行

編集人 京都大學文學部内

右代表者

小 田 武

發行兼印刷人 八坂淺太郎

印刷所(京都志)弘文堂印刷部

京都市田中西浦町四〇

配給元

日本出版配給株式會社
東京橋下代田神田區河原町二ノ九

發行所 弘文堂書房

東京橋下代田神田區河原町四ノ四

定 價		冊 數	定 價	郵 稅
一冊	冊	三十圓	金四圓	
(六冊)前金	冊	百八十圓	金二十四圓	
(三冊)前金	冊	三百六十圓	金四十八圓	

(誌代の變更による會費の過不足は半年又は一年毎に精算いたします)

大正五年四月六日
第三種郵便物認可

昭和二十三年七月二十日印刷
二十三年七月三十日發行
納本（每月一回）
（一日發行）

哲 學 研 究 第 三 百 七 十 三 號

定 價 金 三 圓
（郵 稅 金 二 圓）